

# 除菌水

## スリーハート(ひたちなか市)

「哺乳瓶などの除菌を、新たなスタイルで提供したい」。衛生関連商品の開発や健康管理コンサルタント事業を手掛けるスリーハート(ひたちなか市高野)の仙波康成社長(48)は、商品化した除菌水の市場開拓に意欲を見せる。

除菌水は、薄めた塩酸を電気分解することで生成した次亜塩素酸が主成分の微酸性電解水「ACQUASSIMO(アクアシモ)」。哺乳瓶や調理器具などの衛生を保つ除菌・消毒液で、一般家庭のほか介護施設、医療機関など幅広い分野で活用されている。特にスプレー型容器の家庭向け製品は、吹き付けるだけで簡単に除菌できる。微酸性電解水は短時間で雑菌やウイルスを不活性化させる効果を持つ。一般的な消毒液の原料と

# 哺乳瓶 簡単に衛生管理



<73>



「ベビー用衛生管理用品としてはこれまでにない製品」と胸を張る仙波康成社長。ひたちなか市新光町

なるアルコールを含まないため、「間違っても口に飲んでも安全な水。小さな子どもがいる家庭やお年寄り施設などでも安心して使える」のが特長だ。これまで微酸性電解水は専門メーカーなどが製造し、主に食品工場や外食産業の厨房向け衛生管理に活用されてきた。高い除菌効果と安全性に目を付けた仙波社長は、一般消費者向け商品の開発を模索。煮沸や電子レンジ、薬剤へのつけ置きなど手間のかかる哺乳瓶

の衛生管理向けに活路を見いだした。ただ、販路構築は簡単ではなかった。創業間もない地域の中小企業にとって、取引実績のない小売大手への売り込みは困難を極めた。

救いは「商品に対する高い評価」だった。継続的な営業活動や展示会への出品が次第に実を結び、取扱店は徐々に拡大。現在では、全国展開するベビー用品店や大手百貨店のほか、幅広い事業所の玄関先に除菌・消毒液として設置されている。

高野市ひたちなか市  
設立 2009年3月  
社 800万円  
資 4人  
本 本  
設 社  
資 本  
本 本  
業 業  
員 員  
モ 4人  
メ 本社では台湾で発祥した足裏  
の反射療法を行うリラクゼー  
ションサロン「プレマ」を運  
営している。

「豊かな生活を送るためには、何より健康が大仕事」。仙波社長は体調を崩し、長く勤めた国の研究機関を辞職した。この経験から、健康管理への思い入れも強い。

こうした衛生環境に対する需要は世界的にも共通する。同社は英国や韓国の現地法人と提携し、現地生産を委託。欧州やアジアでも姉妹商品が流通している。

さらに昨年、戒律の厳しいイスラム教徒が利用しても良い基準「ハラール認証」を取得。インドネシアやアラブ首長国連邦(UAE)など、急成長するイスラム圏市場の取り込みも目指す。

「どんなに国が発展しても、衛生環境の問題は必ずある」。地域の中小企業が、独自製品を武器に世界市場へ手を伸ばす。(第4火曜掲載)